

DI 調査結果（令和元年 10 月-12 月期）

一般社団法人石川県鉄工機電協会

概況総括：『景況感は 4 期連続で後退しており、台風被害の影響
米中貿易摩擦や中国経済の減速などにより、予断を許さない状況が続いている』

【調査概要】

1. 今期(令和元年 10 月-12 月期)の業況調査 DI12 項目では、全項目のポイントが悪化して、平成 21 年 7 月-9 月期以来、全項目がマイナス（前回プラス 1 項目）となった。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの 9 項目では、
 - (1) 景況感を端的に表す「売上高」が▲48.8(前回▲28.0)、「収益状況」も▲42.1(前回▲30.0)と、さらに減少しており、台風被害の影響、米中貿易摩擦や中国経済の減速などにより悪化している。
 - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、前回唯一のプラス項目であった「生産設備」は▲8.5(前回 3.8)とマイナスに転じ、「操業率」▲19.3(前回▲2.1)、「受注残」▲10.0(前回▲2.9)と悪化し、景気の減速傾向がさらに強くなっている。
3. 来期については、「来期受注」▲38.2(前回▲29.7)、「来期採算」▲36.1(前回▲28.5)、「来期資金繰」▲23.5(前回▲14.6)と、さらに悪化しており、台風被害、米中貿易摩擦や中国経済の減速などによる影響で、先行きについては依然厳しい見通しとなっている。
4. 「企業経営上の悩み」については、「受注不安定」が 52.6(前回 42.3)と過半数を超え、景況感を直に表している。「人材不足」は 24.1(前回 28.6)とポイントを下げているが、熟練工などの人材が不足しているとの声は高い。
5. 今回全項目でポイントが悪化しマイナスとなっており、景気の失速感がさらに増している。台風被害の影響、米中貿易摩擦や中国経済の減速などにより厳しい状態が続いている。
来期についても、引き続き米中、英国などの海外リスクや、台風被害の影響等が懸念され、不透明感はさらに増ってきており、予断を許さない状況が続くものと思われる。

